

令和4年度第1回埼玉県北部地域保健医療協議会議事概要（書面開催）

1 日時 令和5年3月13日（月） 【書面開催通知送付】

2 委員出席者

委員総数33名（全員出席、別紙名簿のとおり）

3 議題

- （1）（議事）会長及び副会長の選任について
- （2）（報告事項）令和4年度圏域別取組状況について

4 内容

議事及び報告事項について、事務局から説明資料を送付し、委員から賛否及び意見が提出された。

（1）（議事）会長及び副会長の選任 について（資料1）

会長を小林敏宏委員、副会長を鈴木和喜委員とすることを事務局案として提案したところ、総員をもって承認された。

（2）（報告事項）令和4年度圏域別取組状況について（資料2）

【主な質疑・意見】

・熊谷市は令和5年度より、20歳（はたち）の歯科口腔診査が導入されます。これにより、高校卒業以降で見逃されがちな年代への対応が、改善されることを期待しています。また、コロナ禍の影響で、出生率の低下、自殺の増加等が問題となっていますが、実態を早急に把握し、他職種で連携して対応することが必要と考えます。（植野委員）

・本庄市児玉郡歯科医師会では、コロナ感染拡大予防のため、各種の事業実施が困難な状況だった。コロナ禍が落ち着いてきたので、来年度は感染に注意して積極的に事業に取り組みたい。（竹内委員）

・10月に内容確認の照会がありますが、他市町の事例が比較できない照会のため、各市町の内容差がありすぎます。

例として、1市3町で取り組んでいる事業も2町のみが取組に入っている等、格差の是正を行った方が良いと考えます。（金井委員）

・R3実績としてコロナ禍の為、保健医療に関していろいろな取り組みを中断しなければならなかったが、来年度はそれを挽回できるような動きや成果を期待したい。（加藤委員）